

令和8年山形県柔道選手権大会実施要項

1 日的

県内居住の選手を対象に試合を行い、更なる技能等の向上を図る。

2 主催

山形県柔道連盟

3 日時

令和8年2月11日（水・祝日）午前10時00分（開会式）

同 9時30分（審判監督会議）

4 場所

上山市体育文化センターアリーナ

〒 999-3241 山形県上山市けやきの森2番1号

5 出場資格

(1) 選手は、県内に居住、勤務、在学のうち、何れかの条件を満たすこと。

（卒業、転勤等により上記条件を満たすことが確定している場合には、出場できる。ただし、この場合、速やかに登録変更の手続きを行わなければならない。）

(2) 選手は、日本国籍を有し、全日本柔道連盟に登録していること。

(3) 参加条件（これを満たしていない者の出場は認めない。）

ア 高校生の出場条件（男子のみ）

令和7度の全国高校柔道選手権県予選、インターハイ県予選、国体県予選及び新人戦の
何れかにおいてベスト4以上の成績を収めた者。

イ 中学生の出場条件

女子に限り、中学2年生以上で当該保護者の承諾を得た者。

6 試合方法

(1) 男女とも無差別のトーナメント戦とし、3位決定戦を行う。

(2) 男子については、東北柔道選手権補欠選手選考のため、準々決勝敗退選手による5位決定戦を行う。

7 審判規程

(1) 「国際柔道連盟試合審判規程」、令和8年全日本柔道選手権大会、第41回皇后杯全日本女子柔道選手権大会及び本大会申し合わせ事項にて行う。

(2) 試合時間は、男女とも5分間とする。

(3) スコアは「一本」「技あり」「有効」の3種類とし、「技あり」2つで合せ技「一本」とする。抑え込みの時間は、20秒間で「一本」、15秒以上で「技あり」、10秒以上で「有効」とする。

(4) 「指導」による罰則は、4回目が与えられた時点で「反則負け」とする。

(5) 試合時間内に勝敗が決しない場合は、判定にて勝敗を決する。判定基準は試合態度、技の効果と巧拙及び反則の有無等を総合的に比較する。攻撃を高く評価するため「指導」の数のみを持って判定の材料とはしない。

- (6) 立ち姿勢において、相手と組んだ状態で攻撃・防御のために、相手の帯から下を掴む（触れる）ことは反則（指導）とはしない。但し、相手と組んでいない状況で直接相手の帯から下へ攻撃を行うことは反則（指導）とする。
- (7) 寝姿勢から立姿勢に移行したときには、「待て」を宣告して試合を止める。
- (8) 試合は試合場内で行うものとする。立姿勢においては、両足が場外に出るか相手を故意に場外に押し出した場合は反則（指導）とする。
- (9) 立姿勢において、標準的ではない組み方を継続する若しくは繰り返す場合は反則（指導）とする。但し、直ちに攻撃を行えば「指導」は与えない。
- (10) 2022年1月から国際柔道連盟が改正した柔道衣コントロールで実施する。
- ※ 詳しくは別紙参照
全柔連柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣、下穿、帯）を着用すること。柔道衣の大きさ又は規格が規定に合わない場合は出場を認めない。（主催者は予備の柔道衣を準備しない）
- (11) また、今大会は、衛生上の理由で変更しなければならない場合のリザーブ柔道衣を主催者で用意しないため、各自で用意することを推奨する。
- (12) 背中に名字と所属を明示したゼッケンを縫い付けること。（最初から付いていない者は、出場資格がないものとする。）【規格外は出場資格を失う】
その方法は次の図の例による。

図1 ゼッケンの位置

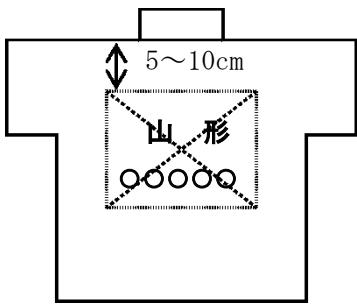
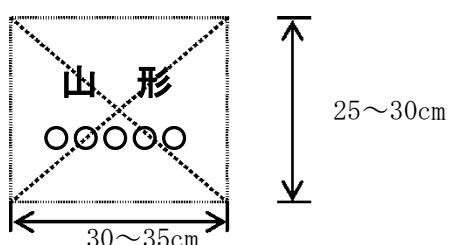


図2 ゼッケンの縫い付け方



- ア 図1の位置に付けること(図2の……部分を縫い付けること)。
- イ 名字(姓)は上側2/3、県名は下側1/3で横書きとする。
- ウ 書体は、太いゴシック体(または明朝体)とし、男子は黒色、女子は濃赤色とする。
- エ サイズは縦25~30cm、横30~35cmとする。
- オ 試合直前又は試合中にゼッケンの二重貼付が発覚した場合「不戦負け」又は「反則負け」が適用される。(代替の柔道衣は認めない。)

8 脳震盪対応について（該当者：20歳未満の選手）

- (1) 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- (2) 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
- (3) 練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
- (4) 当該選手の指導者は、大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告を提出すること。

9 受付

大会当日、午前8時50分から同9時20分までとする。

10 表彰

第3位まで表彰し、優勝者には優勝杯を授与する。

11 出場申込み

- (1) 出場を希望する者は、所定の申込書に必要事項を記載の上、以下の期日まで必着の手続きをとること。

☆ 令和8年1月18日（日）午後3時まで必着

- (2) 申込先及び照会先（メールでの申込みを推奨します。）

〒990-2161 山形県柔道連盟事務局長 開沼敏行

TEL : 090-1064-8824 FAX : 023-645-2149

e-mail : tqsm087@ybb.ne.jp (事務局あて)

* メールでの申し込みを推奨します。（当連盟HPに申込フォームを掲載します。）

12 参加料：1人 1,500円（傷害見舞金を含む）

* 大会当日受付で徴収するので必ず納めること。

13 その他

本大会の成績をもとに強化委員会で以下の選手を決定する。

- (1) 全日本柔道選手権大会東北予選会出場者4名

- (2) 全日本女子柔道選手権大会東北予選会出場者3名

- (3) 皮膚真菌症（トンズラーン感染症）については、発症の有無を各所属団体の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行なうこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

- (4) 保険について

監督・選手は傷害保険に加入すること。

* 参加申込用紙に記載された個人情報が、県柔連ホームページに掲載される場合があります。